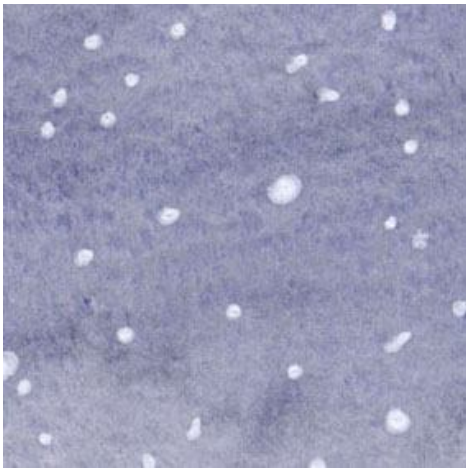


「日々の理科」(第1237号) 2017 (H29),11,25
水彩画教室「しなの鉄道 軽井沢駅」
お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

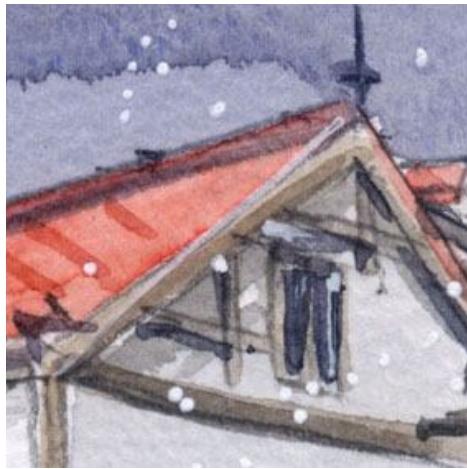
北陸新幹線軽井沢駅の3立派な駅舎のすぐ西側に、赤い屋根の古い駅舎がひっそりと建っています。かつての軽井沢駅舎を復元した建物で、最近まで記念館として公開されていました。私はしなの鉄道の駅舎として復活させたら良いとずっと思っていたのですが、この10月からその通りになりました。新幹線駅舎の3階まで行かなくても、しなの鉄道の列車に乗れるようになりました。内部にはカフェやきれいな待合室もあり、列車を待つのが楽しくなりました。



これが完成した絵です



1、雪粒を目立たせるには、背景の空をなるべく暗くする必要があります



2、この絵では、主題駅舎の屋根が重要で、独特の木の梁木の組み方をよく観察して描きます



3、窓は暗く描きますが、中の灯火を明るく描く方法もあります



4、車寄せ付近は少し複雑なので、適度に省略することにしました



5、背景の落葉樹に少し葉を残しました。「晩秋の雪」を表現したかったのです



6、駅舎の前の石碑、この近くに人物を何人か描けばよかったです